

第3回国立国会図書館契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成21年1月19日(月) 午前10時から午前11時20分 国立国会図書館総務課第二会議室及び関西館特別会議室	
委員長及び委員	委員長 山口俊明(公認会計士) 委員 本田実(城西国際大学IT教育センター教授) 委員 後藤和子(埼玉大学経済学部教授)	
審議対象契約期間	平成20年4月1日～12月12日	
指名停止の運用状況	該当なし。	
抽出事案(件)	3	(備考) 事案総数 239件
競争入札(公共工事)(件)	0	
随意契約(公共工事)(件)	0	
競争入札(物品役務等)(件)	1	契約件名: 大正期刊行図書等の著作権処理(第3期)作業1式 契約相手方: 丸善株式会社 契約金額: 72,765,000円 契約締結日: 平成20年6月17日 担当部局: 関西館総務課
随意契約(物品役務等)(件)	2	契約件名: 新聞資料のマイクロフィルムの作製 635,000コマ/年(ネガ・予定) 1,523,000コマ/年(ポジ・予定) 契約相手方: 株式会社ニチマイ 契約金額: 33,264,525円 契約締結日: 平成20年4月1日 担当部局: 総務部会計課 契約件名: 国立国会図書館関西館における資料の受理記録作成及び書誌データ作成等作業1式 契約相手方: 丸善株式会社大阪支店 契約金額: 109,725,000円 契約締結日: 平成20年4月1日 担当部局: 関西館総務課
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり。	
委員会による意見の具申又は勧告	なし。	
抽出委員の選出	本田委員を次回抽出委員に指定した。	

別紙

意見・質問	回答等
<p>・一般競争入札であっても、1 者入札では真の競争とならない。継続的な案件の場合、参加障壁を取り除いて、複数の会社が入札に参加できるよう工夫する必要がある。</p> <p>・過去の業者間の作業効率についての評価はしていないのか？</p> <p>・毎年度同じ作業内容で随意契約する場合、習熟することにより作業の効率が上がるため、契約金額が抑えられるようになるはずである。</p> <p>・新聞資料のマイクロフィルムの作製は共同事業のため、委託業者を館独自で変えることができないものの、現在の委託業者を決定した平成 12 年度から時間が経過しているため、見直しを提案することが望ましい。</p> <p>・共同事業者の出資者</p>	<p>・入札参加者の見通しを立てて各社に声をかけた結果が 1 者入札になった。</p> <p>・効率性の有無について後日回答。</p> <p>・1 年目は習熟に時間がかかるが、2 年目以降については習熟を考慮に入れ、見直しについては考えていきたい。</p> <p>・共同事業者と委託業者の契約により、多数の新聞社から新聞資料が切れ目なく委託業者に直送されており、委託業者を変更すると順調・円滑な事務処理に支障を来すため、変更は難しいと考えてきた。 共同事業者と協議により再度競争入札にかけ、委託業者を決定するのが望ましいと理解している。</p> <p>・共同事業者の出資者について後日回答。</p>